

1. 事業評価説明シート

事業名	街路事業[街路事業(国補)]	事業箇所	甲斐市西八幡	地区名	(都)田富町敷島線(釜無電共Ⅱ期工区)	事業主体	山梨県
-----	----------------	------	--------	-----	---------------------	------	-----

(1) 事業概要

①課題・背景

(都)田富町敷島線は、甲斐市を南北に縦貫する延長約8.9kmの道路で、甲府都市圏域を中心とした道路ネットワークの一部を構成する幹線道路であり、地域住民の生活道路として重要な役割を担っている。当該区間は市街化区域内に位置し、沿道の土地利用も進んでいる箇所であるが、電線類の地中化が行われていない。こうした中、本区間の無電柱化を行い、緊急輸送道路としての役割を強化すると共に、歩行者の安全性の向上及び良好な都市景観の形成を促進するため、電線共同溝の整備が必要となっている。

②整備目標・効果

□主要目標

○都市災害防止

緊急輸送道路の指定 有(第二次緊急輸送道路)
 自動車交通量 9,724台/12h(H27センサス) > 3,428台/12h以上※
 他事業との連携 整備済み区間に連続する区間 あり ※評価基準値

□副次目標

○歩行者等の安全性の確保

歩行者、自転車交通量 341人台/12h(H27センサス) > 93人台/12h以上※
 自動車交通量9,724台/12h(H27センサス) > 3,428台/12h(平日)以上※
 小中学校からの距離 0km < 概ね1km以内※
 現況の歩道幅員 3.5m > 1.4m未滿※ ※評価基準値

□副次効果

- ライフラインの強化(電線共同溝による電線、通信回線等の統合整備)
- 緊急時の避難・救助機能の確保(緊急輸送道路の整備)
- 被災時の被害波及の防止(緊急輸送道路)

(2) 整備内容と整備量

①整備内容

電線共同溝 L=840m(両側L=1,680m)

②着手年度 令和4年度

③完成見込年度 令和13年度

④総事業費 約900百万円(国費495百万円(5.5/10) 県費405百万円(4.5/10))

⑤年度別の整備内容

(事業費)

令和4年度 設計 20百万円
 令和5年度～令和13年度 電線共同溝工事 880百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費

- ・中下条Ⅱ期工区 L=570m R4～R13 約26億円
- ・大下条工区 L=558m H21～H30 約13億円
- ・名取電共工区 L=330m R4～R10 約4億円
- ・富竹工区 L=1,390m H23～R8 約55億円
- ・篠原電共工区 L=350m R2～R6 約3億円
- ・仲新居工区 L=445m H25～R7 約16億円
- ・釜無電共Ⅰ期工区 L=750m R2～R8 約7億円

(3) 事業の妥当性評価

①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)

地域の重要な生活道路であると共に、緊急輸送道路であることから、社会的受益は大きく、極めて公共性は高い。

②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)

当該路線は、都市計画道路であるとともに県道であることから妥当である。

③経済妥当性

※電線共同溝事業であり、費用便益の算出規定がなく、評価に馴染まないため不算出

④事業実施・規模の妥当性

既整備区間に隣接した工区であり、当該箇所の整備により連続する区間の無電柱化が完了となるため妥当な規模である。

⑤整備手法の有効性

現場条件等から採用可能な電線共同溝方式としている。

⑥環境負荷等への配慮

電線類地中化による環境への負荷はない。

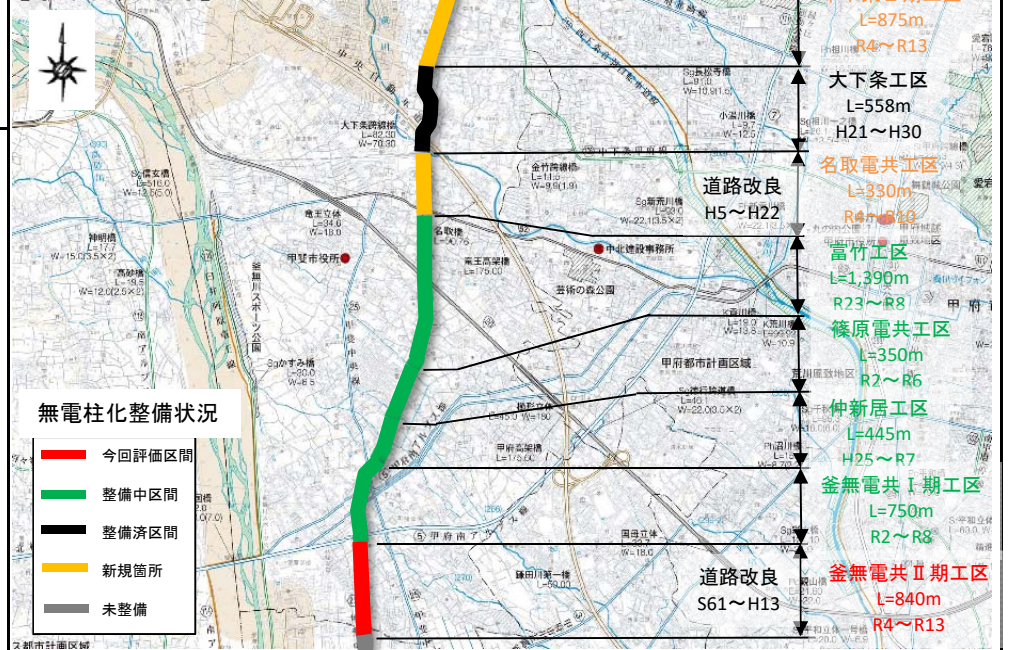
⑦事業計画の熟度

第7期無電柱化推進計画において、事業箇所として電線管理者と協議が行われており熟度は高い。

総合評価

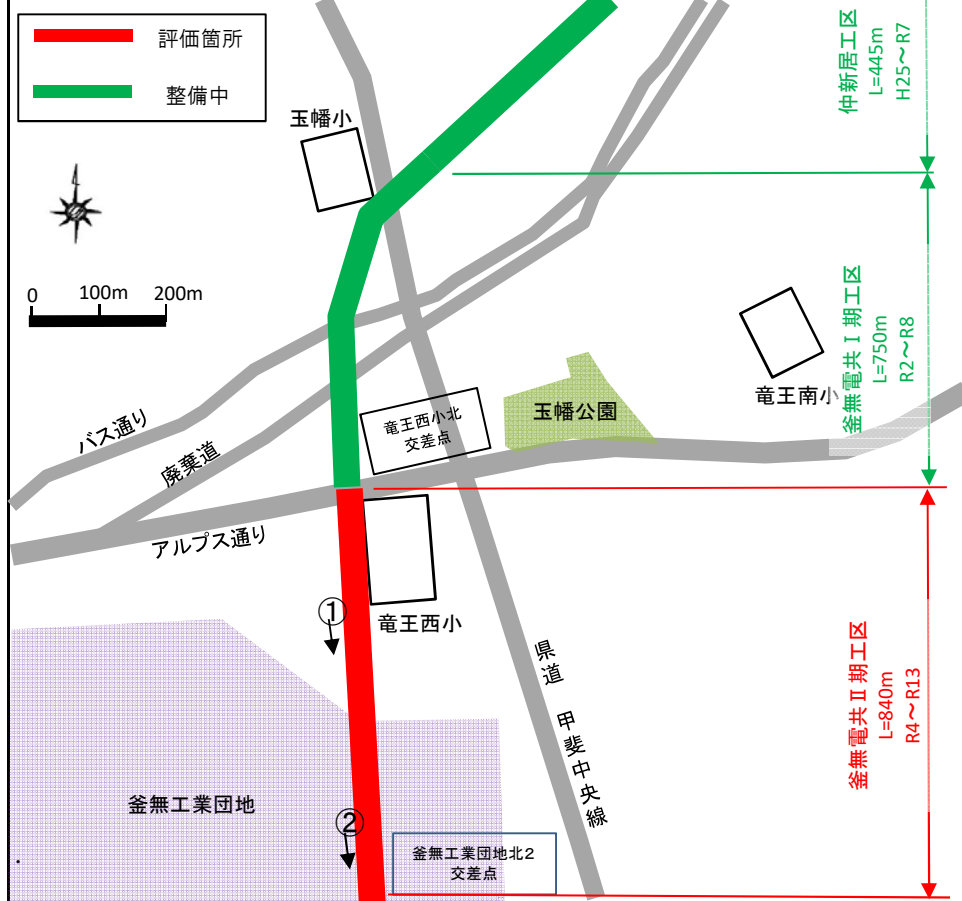
[貢献度ランク: a]

【事業位置図等】

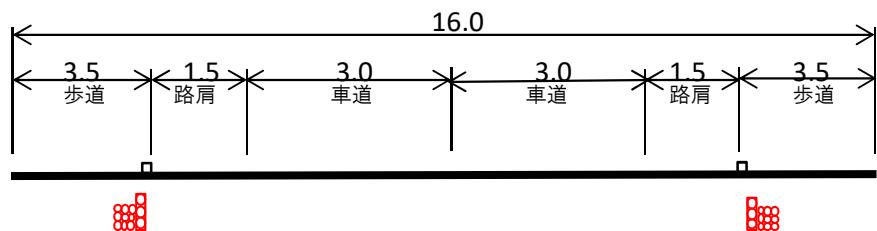


2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】



【写真①】 電線、電柱の状況



【写真②】 電線、電柱の状況

